

# 第1章 平成27年度山口大学埋蔵文化財資料館の活動報告

当館は、昭和53年(1978)設置以降、山口大学構内が所在する遺跡の調査・研究を行うとともに、収蔵資料の展示・公開、また埋蔵文化財・考古学にかかわる教育活動を行っている。具体的には、展示・情報公開活動として、当館展示室において年度内に3回前後の資料展示を行うこと、各種メディアを用いて遺跡及び収蔵資料の情報を公開すること、教育活動としては年度内に1回の市民対象公開授業を開催すること、そして出張展示やワークショップの開催、講演会等への講師派遣など、学内外の要望に応じた地域連携・生涯学習支援活動を実施することである。

平成27年度は、さらに地域連携を深め、博物館活動を充実させるため、山口県立山口博物館と連携協力協定を締結した。その活動の第一歩として、本学吉田キャンパスが所在する山口市平川地区を対象として、連携企画展と社会教育事業を実施した。そのほか、展示活動として、県内の大学博物館・図書館が各大学の学術資料や研究成果を展示にて公開する「山口県大学ML(ミュージアム・ライブラリー)連携事業」に継続参加し、本学委員会である山口大学学術資産継承事業委員会事業成果展『宝山の一角』共催館として、展示室の提供と展示構築・広報支援などを行った。情報公開活動としては、平成13年度および24年度の年報と、『見島ジーコンボ古墳群 第124号墳 潮待貝塚出土資料調査研究報告』、広報誌『てらこや埋文』、そのほか『山口県大学ML連携事業報告 平成27年度展示テーマ「つなぐ」』を刊行した。社会教育活動に関しては、例年通り農学部附属農場との共催により、第15回公開授業『古代人の知恵に挑戦！－古代のお米をつくってみよう10－』を開催した。

当年度の総入館者数は1,995名で前年度に比して12%の増加があった(表1)。これは前年度に中止となった8月初旬開催の吉田地区オープンキャンパスが無事開催されたことによる(表2)。

表1 埋蔵文化財資料館利用者の推移

平成9	平成10	平成11	平成12	平成13	平成14	平成15	平成16	平成17	平成18	平成19	平成20	平成21	平成22	平成23	平成24	平成25	平成26	平成27
191	200	516	142	555	573	913	669	808	1,157	1,228	776	1,333	1,718	1,473	1,072	2,037	1,787	1,995

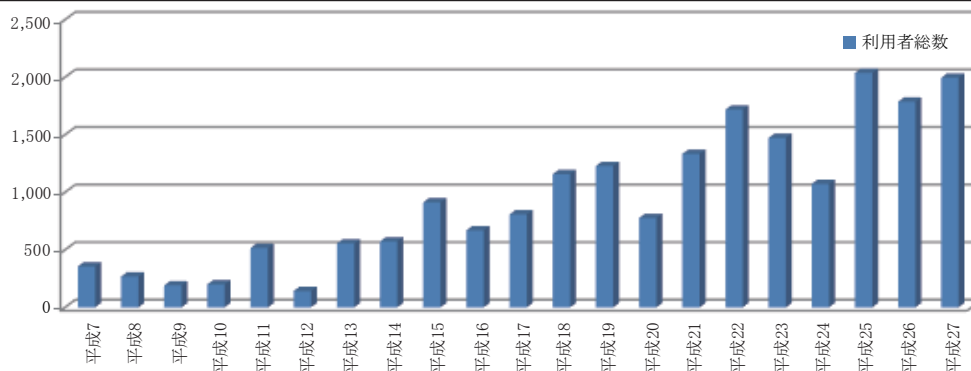


表2 平成27年度月別入館者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
入館者数	345	155	257	75	404	111	150	206	43	41	23	185

